

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

企業理念

心身と環境を守り、食を通じて世の中に貢献する。サラダ料理で世界一になることを目指す。

連結売上高
1,250億円以上

連結営業利益
75億円以上

連結営業利益率
6%以上

ROE
8%以上

② 中長期の経営戦略

1. 成長戦略

既存事業の収益基盤強化とブランド構築。事業ポートフォリオ再構築で環境変化に適応。

3. 人材投資

グローバル企業化とダイバーシティ推進。人材育成強化とキャリアプラン実現施策検討。

2. スマート化・合理化

DX推進による企業改革と生産性向上。事業拠点の再編で効率化・成長を実現。

4. サステナビリティ

環境問題への取組みと地域社会への貢献活動。健康経営で従業員の健康と働きがい重視。

③ 対処すべき課題

① 事業構造の改革

- ・ 3段階フェーズで2035年に向けた目標実現。Phase1は事業構造の改革を推進。
- ・ マーケットインの発想による商品づくり。商品統廃合で既存商品の収益力強化。
- ・ グローバル展開加速と新規事業拡大を推進。

② 資本・財務戦略の強化

- ・ 安定的配当による株主還元強化。政策保有株式縮減と自己株式取得実施。
- ・ 株主・投資家との対話を強化。資本コスト意識した経営実現に対応。

③ 市場環境への対応

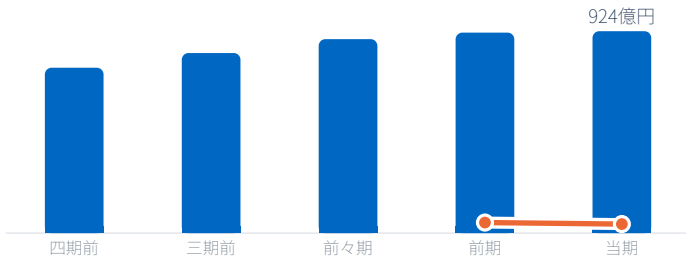
- ・ 原材料価格高騰やエネルギーコスト上昇に対応。為替リスクへの対策強化必要。
- ・ 食の嗜好多様化と環境配慮への関心高まりに対応。サステナビリティ方針実行。

面接で使えるポイント

- ・ 『KENKO Vision 2035』で2024年度から2035年度の12年計画を推進。サラダ料理で世界一を目指す。
- ・ 2035年度に連結売上高1,250億円以上、営業利益75億円以上を目標。持続的成長と企業価値向上へ。
- ・ マテリアリティは地球環境配慮、食の安全・安心、ガバナンス強化、人権多様性尊重、ライフスタイル変化対応。

証券コード 2915

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
924億円営業利益率
4.5%財務健康度
55点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 54.2（当サイト算出の参考指標）

平均年収
648万円

食料品内 61位/120社

平均年齢
38.8歳

食料品内 108位/121社

平均勤続
13.8年

食料品内 77位/121社

女性管理職
11.5%

食料品内 47位/106社

男性育休
92.3%

食料品内 45位/92社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: <ケンコーマヨネーズ>持続的な脱炭素社会の実現を目指す「日本

